

津山小学校の校章について

原案（応募作品）	最終デザイン（補作後）
作成者 柳津小学校 菅原 麻衣 教諭	補作者 柳津小学校 宮崎 敏明 教頭
	

補作のポイント

- 「小」の文字は、イヌワシをイメージできるように翼をやや誇大表現している。
- 「3つの輪」は、北上川を表現していることから、距離感を表すため、線を内側の円に向けて、少しずつ太くしている。
- 「柳の葉」と「3つの輪」は、出力媒体によって区切りが分からなくなるため、接している部分の間隔を空けている。
- 柳の葉の大きさや角度を調整し、全体のバランスをとっている。
- 山を表す三角の線を強調するため、「小」の字を囲む線と同じ太さにしている。

校章の説明文

外を囲む3つの輪は、北上川を、葉は柳を、横にのびる三角は山々を表し、統合する柳津小学校と横山小学校の校章をモチーフにしています。「小」の字はイヌワシをデザインし、山々から湧く水が川へとつながるイメージとしています。

【説明文の調整内容】

文言や表現を整理するとともに、選定後の教育委員会内部で、選定されたデザインの「小」の字が、イヌワシを連想させるデザインに捉えることができると考えられたことから、他の応募デザインにイヌワシをモチーフとしているものが多かったことも踏まえ、作成者本人に確認した上で、「小」の字についてイヌワシをデザインしたものとして調整し、説明文にその旨を加えたものです。

補作にあたっては、校旗等刺繍用の金銀2色パターンと統合校で印刷・表示等でのカラー使用が必要になった場合のためのカラーパターンも作成していただきました。

基本は、モノクロパターンになりますが、校旗刺繍やカラー使用時については、下記のカラーパターンを基本とします。（それぞれ、背景色や映え方を踏まえパターンを選択します。）

刺繍用 金銀2色パターン	カラーパターン
	